

## 舞鶴帯津和野コンプレックス花崗岩質岩の年代の多様性

木村光佑\* (呉高専), 早坂康隆, 柴田知之, ダス カウシク (広島大), 川口健太 (全北大学校)

### Age variation of granitoids of Tsuwano Complex, SW Japan

Kosuke Kimura\* (KOSEN, Kure College), Yasutaka Hayasaka, Tomoyuki Shibata, Kaushik Das (Hiroshima Univ.), and Kenta Kawaguchi (Jeonbuk National Univ.)

島根県津和野地域の舞鶴帯から見出された新太古代-古原生代の花崗片麻岩, 花崗岩類やメタコーツァイトなどからなる津和野コンプレックス(木村ほか, 2019; Kimura et al., 2021)のうち, 特に花崗岩類の年代バリエーションをより広く詳細に把握するため, 津和野地域西部に露出する戸谷川岩体(新称)の花崗岩質岩 5 試料, 部栄岩体の花崗岩質岩 1 試料のジルコン, および戸谷川岩体のメタコーツァイト 1 試料の碎屑性ジルコンの U-Pb 年代を LA-ICP-MS を用いて測定した。

戸谷川岩体は西北西-東南東方向に伸びた長さ約 1 km, 幅約 100 m のレンズ状小岩体であり, 戸谷川沿いに露出する。メタドレライトと花崗岩質岩を主体とし, メタコーツァイトを伴う。花崗岩質岩は主に石英, 斜長石, カリ長石からなり, いずれも強いカタクラシスを被っているが, 火成岩組織を残している。メタコーツァイトは少量のカリ長石を伴う。

戸谷川岩体の花崗岩質岩 2 試料からは  $1842 \pm 9$  Ma と  $771 \pm 5$  Ma の単一年代がそれぞれ得られた。別の 2 試料からは, 波動累帯構造を示すリム部から  $479 \pm 5$  Ma の年代 (Th/U < 0.1) が, コアから約 915–845 Ma と約 815–755 Ma の inherited 年代がともに得られ

た。更に 1 試料からは約 490–400 Ma の年代が得られた。また部栄岩体からは  $1760 \pm 11$  Ma の年代が得られた。一方, メタコーツァイトからは約 2705–2140 Ma (n = 21/102) のコンコールド年代が得られ, 約 2675 Ma に最大のピークを持つ。また約 1850 Ma にも Th/U 比が 0.1 未満のコンコールドなデータが 1 点認められる。

戸谷川岩体の花崗岩質岩は VAG の特徴を示し, 771 Ma のものは特に高い A/CNK (>1.5) を示す。一方, 部栄岩体のもは A タイプ花崗岩であり, WPG の特徴を示す。

戸谷川岩体にも古原生代の花崗岩類およびメタコーツァイトが分布していることが明らかとなった。戸谷川岩体から得られた 915–755 Ma の年代は, 南中国地塊で最大のピークを形成しているが北中国地塊の南縁にも知られており, 韓半島の京畿地塊北部から狼林地塊南部に延長している (Lee et al., 2020)。また 1.8–1.75 Ga の A タイプ花崗岩は例えば北中国地塊南縁で知られており (Bai et al., 2021), コロンビア超大陸の分裂に伴うリフトの活動との関連が指摘されている。今後アジア大陸との精密な対比によって, 津和野コンプレックスの起源を制約する。

Keywords: Maizuru Terrane, Tsuwano Complex, Zircon U-Pb age

\*Corresponding author: koske.kimura@gmail.com